



JIA 東海支部 2024 年度総会記念
建築史家 倉方俊輔 講演会

CPD 単位 2.0 申請中

「歴史から見る建築家の職域と職能 そして、これから」

2024 5/24 金

17:00~18:30 (90分)

伊東忠太は、単に「造家学会」から「建築学会」への改名を推進しただけでなく、建築家という専門職の概念を確立し、その職能の礎を築いた。

倉方俊輔さんは、研究や著書から伊東忠太や吉阪隆正を取り上げている。また、日本最大級の建築公開イベント「イケフェス大阪」や子どもたちを対象とした著書から、建築を市民目線でつたえる取り組みをされています。このような活動を通して、これからの建築家の職域や職能について、お話しいただきます。

会場：ラグナススイート名古屋
名古屋市中区錦3丁目 12-13

参加費：無料

開催方式：ウェビナーとの併用

会場定員：80名

ウェビナー参加申込は QR コードより

※会場での参加者は
総会評決資料による
申し込みとなります



問い合わせ

(公社) 日本建築家協会
東海支部事務局

Mail: shibu@jia-tokai.org



建築史家 大阪公立大学教授
倉方俊輔

1971 年生まれ。建築史家。大阪公立大学教授。建築そのものの魅力と可能性を、研究、執筆、実践活動を通じて深め、広めようとしている。研究として、伊東忠太を扱った『伊東忠太建築資料集』（ゆまに書房）、吉阪隆正を扱った『吉阪隆正とル・コルビュジエ』（王国社）、梵寿綱と羽深隆雄を扱った『生命の讃歌 建築家 梵寿綱 + 羽深隆雄』（美術出版社）、石井修を扱った『建築家・石井修—安住への挑戦』（建築資料研究社）など。執筆として、幼稚園児から高校生までを読者対象とした建築の手引きである『はじめての建築 01 大阪市中央公会堂』（生きた建築ミュージアム大阪実行委員会）、都市を建築から物語る『京都 近現代建築ものがたり』（平凡社）、文章と写真で建築の情感を詳らかにする『神戸・大阪・京都レトロ建築さんぽ』、『東京モダン建築さんぽ』、『東京レトロ建築さんぽ』（以上、エクスナレッジ）ほか。実践として、日本最大級の建築公開イベント「イケフェス大阪」、「京都モダン建築祭」、日本建築設計学会、リビングヘリテージデザイン、東京建築アクセスポイント、Ginza Sony Park Project のいずれも立ち上げからのメンバーとしての活動などがある。2017 年日本建築学会賞（業績）、2018 年日本建築学会教育賞（教育貢献）、2021 年度グッドデザイン賞グッドデザイン・ベスト 100、2023 年日本建築学会教育賞（教育貢献）ほか受賞。

現在、東京建築祭 実行委員長 5 月 25 日より開催 詳しくは HP を御覧ください
<https://tokyo.kenchikusai.jp/>



公益社団法人日本建築家協会 東海支部